

岡本 俊

(市民連合)

オーガニックアカデミー  
事業の進捗状況と評価は



「オーガニックアカデミー」

**問** 旧樹海東小学校利活用の地域再生計画は、農業技術者の育成、食農教育の場・農産加工など地域経済の活性化を目的に平成19年に公募の結果ジャパンバイオファームに決定し、オーガニックアカデミー構想として5年間で1億6千万円の投資、全国から研修生を年間受け入れ、農産加工・観光農園などをするとしていたが、現状は大きく計画と乖離している。これまでの

事業進捗状況と評価は。

**答** 今年度は短期研修で3日間延べ17名。有機栽培は約3.5haの農地にソバ、馬鈴薯、トマトなどを進めている。農産加工6次産業総合対策補助申請に至っていない現状にある。オーガニックアカデミー事業計画では総事業費140万円である。

地域再生計画と5年間の  
事業評価は

**問** 地域再生計画の目標は、食農体験施設を核に農業技術者育成、後継者育成、自然体験や環境教育など幅広い事業を施設で研修し地域振興を図るとしているが現状での事業評価について。

**答** 西達布地域における新規雇用、定住者、交流人口の拡大は大きく飛躍が期待できる状況にない。当初予定の事業展開になっていない部分が多く実行性のある事業展開を指導してきた。最終年の今年も、計画の多くの部分が進捗していない状況。投資総額は約1,170万円と当初計画と大きな隔たりがあり、庁内で協議を行い地域活性化につながるか慎重に判断したい。

関野 常勝

(民主クラブ)

**問** 観光資源としてのリサイクルセンターは、誘客に対しての観光メニューとして活用されていないのが現状であり、環境学習施設として位置付けされている。修学旅行生の受け入れなどの進捗状況は。

**答** 山部地域振興計画に基づき観光を切り口として活性化に向けて取り組んでいる。受け入れの現状では、社会見学と視察が中心であり、修学旅行生については、ふらの観光協会修学旅行センターと内容を再検討し、PRをしていく。

**問** 山部地域の振興策について、新エネルギー事業を推進するため、リサイクルセンターの拠点化と広域推進協議会の設置について見解を伺う。

**答** 平成21年度に策定した富良野地域新エネルギービジョンに基づき、地域特性を活かした新エネルギー源となる太陽光・風力・小水力・バイオマスなどの賦存量や利用可能量、導入の可

能性について調査し、検討する。本事業は、リサイクルセンター機能の活用や関係機関による推進協議会の設置も予定されており、新エネルギーが地域で活用され、地域振興に貢献するシステムモデルになればと考えている。

**問** 新エネルギー施策については、将来性のある取り組みと受け止めている。エネルギー産業を行政含めて勉強をすべきで、先進地視察が必要と考えているが、市の見解は。

**答** 北海道大学と連携し、富良野に合ったプログラムが採択となれば選定をしていく。先進地視察は内容を踏まえた中で、その時期が来れば必要と考える。



山部の「リサイクルセンター」